



2017年6月23日

各位

会社名 日立建機株式会社
 代表者名 執行役社長 平野 耕太郎
 (コード: 6305 東証第一部)
 問合せ先 広報戦略室 広報・IR部長
 井戸 治子
 (TEL.03-5826-8152)

支配株主等に関する事項について

当社の親会社である株式会社日立製作所（以下、「日立製作所」という。）について、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）、その他の関係会社又はその他の関係会社の親会社の商号等
 (2017年3月31日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が上場されている 金融商品取引所等
		直接 所有分	合算 対象分	計	
日立製作所	親会社	50.9	0.6	51.5	(株)東京証券取引所 市場第一部 (株)名古屋証券取引所 市場第一部

2. 親会社の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社との関係

- (1) 親会社の企業グループにおける上場会社の位置付け、親会社やそのグループ企業との取引関係や人的・資金的関係

当社は、日立グループの中で建設機械部門に属し、建設機械事業を担う唯一の企業であり、事業運営の独立性を保ちつつ、親会社である日立製作所のグループの一員として、基本理念及びブランドを共有しています。

また、当社及び日立製作所との間には、日立グループ・プーリング制度による資金の貸借等の取引関係があり、研究開発等の分野においても協力関係にあります。日立製作所のグループ企業との間には、製品の販売等の取引関係があります。

なお、当社では、取締役会の監督機能強化及び日立グループとの連携を確保するため、2017年3月31日現在において取締役8名のうち1名が日立製作所の代表執行役 執行役副社長を兼務しています。

(役員等の兼任状況)

(2017年3月31日現在)

役職	氏名	親会社又は そのグループ企業での役職	就任理由
取締役会長	齊藤 裕	親会社 (株)日立製作所 代表執行役 執行役副社長 親会社の子会社 日立国際電気(株) 取締役会長	同氏の日立グループにおける機械事業、国際的な企業経営者としての豊富な経験、高い見識を活かし、当社の経営全般に助言いただくことで、当社の経営体制を更に強化できると判断しました。

- (2) 親会社の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社やそのグループ企業との取引関係や人的・資金的関係の面から受ける経営・事業活動への影響等

日立グループに属することにより、当社は、日立製作所及び日立グループ各社が有する研究開発力、ブランド力、その他の経営資源を有効に活用することができ、当社及び当社グループの企業価値の一層の向上に寄与します。

- (3) 親会社からの一定の独立性の確保に関する考え方及びそのための施策

当社の取締役 8 名のうち 1 名は、日立製作所の出身者であることから、取締役会における意見の表明を通じて、当社の経営方針の決定等について影響を及ぼし得る状況にあります。しかしながら、日立製作所の出身者の人数は、当社の取締役会の過半数を占めるに至っておらず、さらに、(株)東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ている社外取締役が 3 名就任していることから、当社独自の経営判断を行うことができる状況にあると考えています。また、日立製作所及びそのグループ企業との取引条件は、市場価格等を参考に双方協議のうえ、合理的に決定しています。

- (4) 親会社からの一定の独立性の確保の状況

日立製作所との関係において取引の独立性を保つことを基本として独自に事業活動を行っております。また、当社の事業活動も日立製作所との取引に大きく依存することにはないことから、当社は、親会社からの一定の独立性が確保されていると認識しております。

3. 支配株主等との取引に関する事項

2017 年 3 月期 (2016 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日まで) における日立製作所との取引の状況は以下のとおりです。

- (1) 当社と親会社との取引

属性	会社名	資本金 又は 出資金	事業の内容	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	日立製作所	458,791 百万円	電気機械器具 他各種製品の 製造及び販売・サービス	資金の 貸借等	資金の引出し	9,732	短期 借入金	26,487
					資金の借入	26,487		
					預入れ利息	2		
					借入金利息	21		
					ブランド使用 料の支払	4,913	未払金	3,942

(注) 取引条件ないし取引条件の決定方針等

資金の集中管理を目的とした日立グループ・プーリング制度に加入しており、資金の融通は日々行われているため取引金額は前事業年度末時点との差引き金額を表しています。

資金の預入れ・借入れについては、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しています。なお、担保は提供していません。

- (2) 当社と、同一の親会社を持つ会社等との取引

属性	会社名	資本金 又は 出資金	事業の内容	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社 の 子会社	日立キャピタル(株)	9,983 百万円	金融サービス 事業	当社製品のリース及び当社の取引先に対する支払業務の委託	当社の取引先に対する支払業務の委託	8,573	買掛金	299
							未払金	12

(注) 取引金額については、消費税等を除いて表示し、期末残高については消費税等を含めて表示しています。

取引条件ないし取引条件の決定方針等

日立製作所が日立キャピタル株式会社の株式の一部を譲渡した結果、2016 年 10 月 3 日をもって日立キャピタル株式会社はその他の関連当事者に該当しなくなりました。同社との取引金額及び同社に対する期末残高は 2016 年 9 月末までの取引高及び残高を記載しています。なお、当社の営業債務に関し、当社、取引先、同社の 3 社間で基本契約を締結し、ファクタリング方式による決済を行っています。

(3) 当社の連結子会社と、当社と同一の親会社を持つ会社等との取引

属性	会社名	資本金 又は 出資金	事業の内容	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社 の 子会社	日立キャピ タル(株)	9,983 百万円	金融サービス 事業	当社子会社の取 引先に対する支 払業務の委託 及び貸貸用営業 資産の割賦購入 及びファイナン ス取引	取引先に対 する支払業 務の委託	2,405	買掛金	1,180
					担保提供	9,625	—	—

(注) 取引金額については、消費税等を除いて表示し、期末残高については消費税等を含めて表示しています。

取引条件ないし取引条件の決定方針等

日立製作所が日立キャピタル株式会社の株式の一部を譲渡した結果、2016年10月3日をもって日立キャピタル株式会社はその他の関連当事者に該当しなくなりました。同社との取引金額及び同社に対する期末残高は2016年9月末までの取引高及び残高を記載しています。なお、当社連結子会社の営業債務に関し、当社連結子会社、取引先、同社の3社間で基本契約を締結し、ファクタリング方式による決済を行っています。

4. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社は、日立製作所及び日立グループ各社と取引を行う場合には、一般に公正妥当な市場価格に基づき、双方協議のうえ、合理的に決定しており、公正な取引が確保されています。

以上